

CADdoctor for Autodesk Moldflow EX10.0

リリースノート

2024 年 4 月
株式会社エリジョン

1. 主な対応項目

各製品の主な対応項目は以下の通り。

1.1. Component 製品

- | |
|---|
| (1) 新 CAD バージョン / ファイルバージョン対応 |
| - NX (Standalone) Importer
NX 2306 Series サポート
※サポート対象 : UG10 – NX 2306 Series (2306.7000 まで) |
| - Parasolid (Standalone) Importer
V36.1 サポート
※サポート対象 : V7 – V36.1 |
| - ACIS (Standalone) Importer
R34 サポート
※サポート対象 : R6 – R34 |

2. 機能改善 / 仕様変更 / 不具合修正

各製品の変更点は以下の通り。カッコ内の数字はお問い合わせ時の SupportID です。

(1) 標準機能
- 編集機能 (コピー/移動)を使用すると、フェースの持つ解析情報が失われる問題を修正しました。(00073561)
- システム設定のパスページで末尾に「¥」を付けたパスを指定するとインポート/エクスポートでファイルダイアログが表示されない問題を修正しました。(00073653)
- レイヤーフィルターが適用されている場合にはアイコンを 3D ビューに表示するように対応しました。
- 特定モデルに対する自動修正でデータが不正になる問題を修正しました。(00070122)
(2) CATIA V5 (Standalone) Importer
- 非表示要素の変換有無を指定するパラメーター「非表示要素変換」「非表示インスタンス変換」の初期値を「1」から「0」に変更しました。
(3) NX (Standalone) Importer
- 非表示要素の変換有無を指定するパラメーター「非表示要素変換」「非表示インスタンス変換」の初期値を「1」から「0」に変更しました。
(4) Creo Parametric (Standalone) Importer
- 非表示要素の変換有無を指定するパラメーター「非表示要素変換」「非表示インスタンス変換」の初期値を「1」から「0」に変更しました。
(5) Parasolid (Standalone) Importer
- 特定モデルの変換で不正な形状が変換される問題を修正しました。(00057658)
- 特定モデルの変換でフリーエッジが発生する問題を修正しました。(00057694)
- アセンブリ名、ボディー名、要素名の変換規則を指定するパラメーター「AssignEntityName」を追加しました。
- パラメーター「KeepInstanceOrder」の値に、インスタンスの表示順序を部品のアルファベット順にする新たなオプション「2」を追加しました。
(6) STEP (Standalone) Importer
- 特定モデルに対して位相構造が正しく変換されない問題を修正しました。(00070708)
- 特定モデルに対して閉じたカーブが正しく変換されない問題を修正しました。(00073537)
- SOLIDWORKS 2021 以前のバージョンから出力された AP203/AP214 形式の STEP ファイルに含まれる ANSI 形式の文字属性を、STEP のヘッダーに書かれた出力元情報から自動で ANSI 形式と識別して変換するように対応しました。
(7) JT (Standalone) Importer
- 特定モデルの変換でシーム入れに失敗する問題を修正しました。(00064953)
(8) Geometry Simplifier
- 特定モデルに対してフィレット一括削除の結果を改善しました。(00066245)

3. 推奨動作環境

CPU	Microsoft Windows 10 Pro 64-bit、Microsoft Windows 11 Pro (*1)が稼働可能なCPU
メモリー	4GB 以上
OS	Microsoft Windows 10 Pro 64 ビット (22H2) Microsoft Windows 11 Pro (23H2)
対応言語	日本語、英語、ドイツ語、中国語(簡体字)、韓国語
ディスプレイ	1280 × 1024 ドット以上表示可能なディスプレイ ダブルバッファードに対応した OpenGL ビデオカード(*2)

(*1) Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

(*2) OpenGL は米国 Hewlett Packard Enterprise 社の登録商標です。

4. 特記事項 / 制限事項 / 既知の問題点

4.1. 製品共通

- (1) CADdoctor for Autodesk Moldflow EX10.0 を使用する際のライセンスサーバーは、Sentinel RMS License Manager v9.7.2.0006 をご使用ください。旧バージョンのライセンスサーバー (Sentinel RMS License Manager v9.2.1)でも CADdoctor for Autodesk Moldflow EX10.0 を使用することは可能ですが、v9.2.1 での動作は正式サポートの対象外となりますので、v9.2.1 から v9.7.2.0006 へのアップデートを未実施の場合には、ライセンスサーバーをアップデートした上で CADdoctor for Autodesk Moldflow EX10.0 をご使用ください。ライセンスサーバーのアップデート方法については、ライセンスサーバーのインストーラーに同梱されている「セットアップ&クイックスタートガイド」を参照ください。
- EX10.0 では RMS v10.x へのバージョンアップと共に Windows 11, Windows Server 2022 での動作を正式サポートする予定でしたが、RMS v10.x に致命的な不具合が見つかったため、EX10.0 での RMS v10.x へのバージョンアップは見送らせていただくこととなりました。RMS 9.7.2 は Windows 11, Windows Server 2022 での動作はライブラリー提供元からの正式サポートはありませんが、弊社のテストにおいては Windows 11, Windows Server 2022 で正常に動作することを確認しております。RMS 9.7.2 を Windows 11, Windows Server 2022 で動作させることは可能ですが、正式サポートの対象外となることをご了承ください。

4.2. Component 製品

- (1) NX (Standalone) Importer
 - NX 1953 以降で作成されたデータを変換すると、「可視のみ」のレイヤに属する表示要素が非表示要素として変換される場合があります。
- (2) JT (Standalone) Importer
 - JT ライブラリーの不具合により、v10.3 以前のバージョンで作成された ULP(Ultra Lightweight Precise)要素を変換すると、ポリゴン形状が正しく変換されない現象が確認されています。
 - JT ライブラリーの不具合により、v10.4 以降のバージョンの JT を変換すると、モデルによっては変換に失敗することが確認されています。発生条件や原因について調査中です。
- (3) Geometry Simplifier
 - 見えないボリュームの削除機能 (RemoveInvisiblePart) および可視面抽出機能 (ExtractVisibleFace)を使用する場合、実行環境としてバージョン 3.0 以上の OpenGL に対応したビデオカードのある環境を推奨します。

5. OS 対応表

プロダクト		Windows 10 (*1)	Windows 11 (*2)
CADdoctor 本体		○	○
独立型	CATIA V5	○	○
	NX	○	○
	Creo Parametric	○	○
	Parasolid	○	○
	ACIS	○	○ (*3)
	STEP (*4)	○	○
	JT	○	○
	IGES	○	○

(*1) 22H2 にて動作確認済。

(*2) 23H2 にて動作確認済。

(*3) R33, R34 のみ Windows 11 をサポート。

(*4) STEP AP242 BOM XML はサポート対象外。

6. サポート Moldflow バージョン一覧

- ◆ Autodesk Moldflow Synergy 2019 以降
- ◆ Autodesk Moldflow Adviser 2019 以降

7. サポート CAD バージョン一覧

製品	サポート CAD バージョン
CATIA V5	R10 – R33(V5-6R2023)
NX	UG10 – NX 2306 Series (until 2306.7000)
Creo Parametric	Pro/ENGINEER 2000i – Creo Parametric 10.0
Parasolid	V7 – V36.1
ACIS	R6 – R34
STEP	AP203, AP214, AP242 (ed1/ed2/ed3)
JT	v6.4 – v10.9
IGES	5.2, 5.3

※赤文字は EX10.0 で更新されたサポートバージョン

本コンテンツに関する著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの
行為をすることは禁じられています。